

# ハルカ科 Cramptonomyiidae

ver. 2019/02/15



「日本昆虫目録第8巻」によると、日本産ハルカ科は1属1種、マダラハルカだけが記録されています。しかも、翅に独特の模様があるので、一目でそれと分かります。そんなわけで、捕まえて調べてみようと思ったことがなかったのですが、いざ、ハルカ科についてまとめてみようと思ったら、余りに情報がないので困ってしまいました。「絵解きで調べる昆虫」に載っている絵解き検索表によると、ハルカ科であることを確かめるには次の6項目を調べればよいことになっています。①長角亜目、②ガガンボ類以外(胸背にV字型のしわがない)、③翅に二次脈はない、④C脈は翅を全周しないで途中で止まる、⑤中室がある、⑥R4脈(文献によってはr横脈)がある。翅脈については後で写真を載せますので、そちらを参照してください。

生活史についてはMNDにもあまり載っていませんでした。MNDには、ハルカ科はPachyneuridaeになっていましたが、読んでみると次のようなことが書かれていました。Harukaの幼生期については分かっていませんが、その他の種については、幼虫は朽木に孔をあけた状態で見つかるそうです。Cramptonomyia spenceriについては生活史が調べられているのですが、この種はハンノキに関連していて、成虫は海岸の湿った森で冬遅く見られるそうです。♀は朽ちたハンノキ上に産卵し、幼虫は樹皮や幹に孔を開けて生活するようです。幼虫期は1年以上になると思われるということでした。♂は草地でスィーピングすると採集できるようで、蚊柱のようなものは形成しないとのことでした。

ハマダラハルカ *Haruka elegans*

2014/04/08

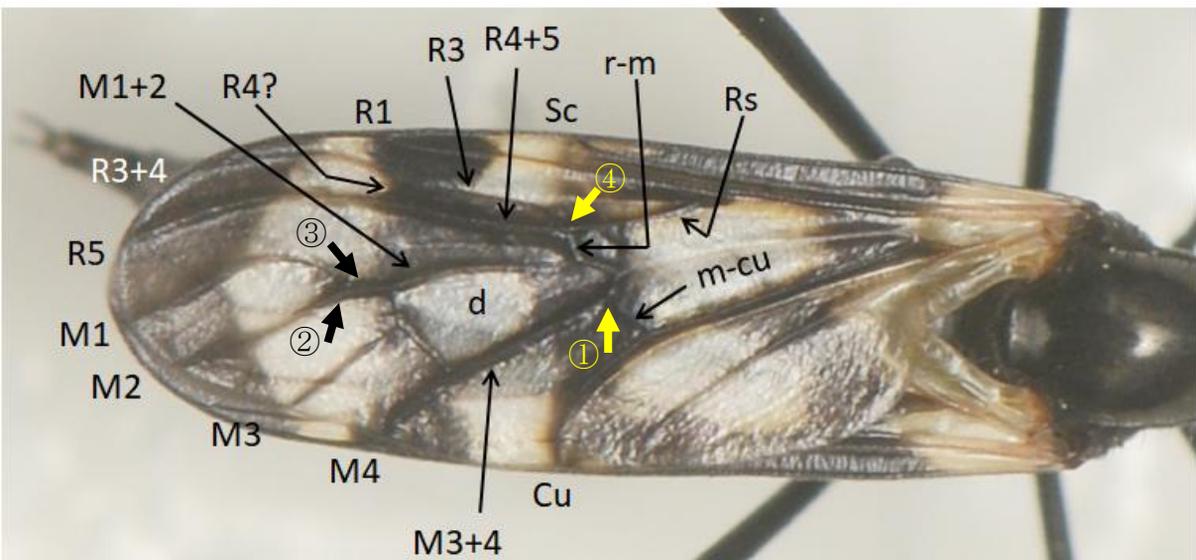


2015/04/06



2018/03/27

以前なら、上の写真を見て間違いなくガガンボの仲間と書いていたと思うのですが、最近は少し分  
 かり始めました。まず、よく見ると、中胸の背(頭の後ろの黒く光っている部分)にV字の溝がありませ  
 ん。さらに、よく見ると単眼があります。これらの情報から、ガガンボの仲間ではないことが分かります。  
 さらに、翅脈をみると、ハルカ科かカバエ科あたりにたどり着きます。ハルカ科の特徴であるr横脈が  
 写真からは見えないのですが、ハルカ科のハマダラハルカあたりとちよつと似たところがあります。  
 ひょつとしたらその仲間かもしれないとブログに書いたら、「ハマダラハルカは多分合ってます」と  
 コメントをいただきました。写真下左と下右は腹部末端の形状からそれぞれ♂と♀のようです。



ハルカの翅脈の名称は文献により異なり、どれが現在普通に使われているのか判断できませんでした。この写真に書き込んだ名称は論文[1]に載っていたものです(MNDに載っている翅脈は、R3+4→R2+3、R5→R4+5、R4→r横脈、M4→CuA1、Cu→CuA2となっていました)。この論文には現存種と化石種に対する属の検索表が載っていたので、ついでにそれを訳してみました。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| ①a d室は大変小さい(長さは翅長の約1/13); m-cu横脈はM4脈に結合する                         | <i>Tega</i>          |
| ①b d室は大きい(長さは翅長の約1/6); m-cu横脈はM3+4脈に結合する                          | ②                    |
| ②a M1+2脈は大変短い(d室の長さの半分を越えない); M1+2脈の分岐はd室の近位部にある                  | <i>Cramptonomyia</i> |
| ②b M1+2脈は長く、分岐はd室の遠位部に位置するかd室を越える                                 | ③                    |
| ③a M1+2脈の柄を欠く   | <i>Pivus</i>         |
| ③b M1+2脈の柄がある   | ④                    |
| ④a Rs脈は長い(R5脈の長さの約1/3); R3脈はr-m横脈と共にRs脈から分岐する; ♂の眼は長区間融合する        | <i>Haruka</i>        |
| ④b Rs脈は短い(R5脈の長さの約1/4); R3脈はRs脈から直接分岐する(r-m横脈を越えて); ♂と♀の眼は明瞭に分離する | <i>Pergatospes</i>   |

日本産は*Haruka*属1種なので検索する必要もないのですが、一応、検索してみると、翅が黒くて翅脈がよく見えない部分(R4脈とRs脈からR3脈が分岐する部分)があるのですが、それらを除くとよく合っているようです。ただ、♂の眼が合眼的と書かれているのが前頁の写真を見る限り違っているようです。この辺りは今度採集したときに調べてみたいと思っています。

[1] V. Blagoderov et al., "Fossil and Recent Anisopodomorpha (Diptera, Oligoneura): family Cramptonomyiidae", Acta zool. cracov. 35, 573 (1993). ([ここからダウンロードできます](#))